



末田まさひこ 市政ニュース

No.14 2009. 1.
発行: 日本共産党
倉敷市議会議員団
倉敷市西中新田 64-0
TEL086-426-3767

庶民大増税に反対し、憲法を守りぬきます。

日本共産党倉敷市議会議員 末田 正彦 sueda@mx7.kct.ne.jp TEL086-470-0662 FAX086-470-0668

11月市議会を終えて

景気の悪化から市民の暮らしを守る

アメリカ発の金融危機により、わが国も自動車、電気産業をはじめ、大企業による非正規労働者の大規模な雇い止めがすすんでいます。

日本共産党市議団は、非正規労働者の雇用を守るため、政府機関及び自治体に対して要請をおこなうとともに、大企業に出向き、「今こそ、大企業の社会的責任をはたすべき」と雇用の確保を求めました。また、関連企業との懇談では、「政府は実効ある対策をおこなってほしい」との切実な要望が寄せられました。

岡山労働局に対して、玉島公共職業安定所の存続を申し入れるとともに、11月議会では、当局に対し、廃止の場合は代替措置をとるよう強く求めました。



11月定例会本会議で一般質問をおこなう末田正彦議員

大型事業ではなく福祉・教育優先に

「子どもの無保険状態を解消せよ」と迫り、1月1日から、資格証明書の家庭でも小中学生の無保険状態はなくなり、短期保険証で受診できることになりました。

伊東市長が固執している倉敷駅付近鉄道高架事業(関連事業を含め事業費約1,000億円)は、暮らしが大変な今、本当に必要な事業でしょうか。大型事業への無駄づかいは許さず、福祉・教育優先の市政実現を訴えました。

フォト日誌



10月2日 「市立児島市民病院を守り地域医療を考える会」伊東市長に署名提出



10月4日 倉敷市立柳田幼稚園運動会

無料生活相談：毎月第1, 第3水曜日(公務等で日程変更の場合あり) 9:30 ~ 12:00 日本共産党児島後援会事務所にて
お気軽にご連絡ください。TEL086-470-0662

倉敷市立児島市民病院を守れ!

医師確保・病院正常化に向けて
 当局のさらなる努力を求める

「9月議会で市長は、医師を派遣してもらうためには、『もともとの児島市民病院の、地域の中核病院としての役割をしっかりと我々が認識をしているということ、先生方に再度お伝えをしていくことから、まず必要になってきている』と答弁された。先生方に、市長の言うその

**児島市民病院を守ろう! 市民が集う
 森田潔岡山大学病院長、「地域医療」大いに語る**

「市立児島市民病院を守り地域医療を考える会」は、12月20日、森田潔岡山大学病院長を講師に招き、「医師不足・公立病院をめぐる情勢学習会」をおこないました。参加者は、会場いっぱいの120人。院長の話に熱心に聞き入りました。

森田院長は、「小泉改革」によって大学病院の地域医療を支えてきた機能が“ぶっ壊された”ことをわかりやすく説明。「大学病院も公的病院も採算がとれないのは制度的に当たり前、医療はお金だけではないので、公的病院には落ちこぼれた人を守る役割がある。そのためにも行政も公的病院を支えるべき」と力説されました。

児島市民病院の問題は、「一般的に地方でおきている医師不足の問題とは性格が異なるので、解決できると思っている。出来る限りのことはしたい」との医師派遣に前向きな話しに、参加者から大きな拍手がおこりました。

私も市議会の状況を報告し、「参加者のみなさんが児島市民病院を守りたい、という思いを共有できたのはすばらしいこと。みなさんと一緒になって、考え取り組んでいきたい」と激励の挨拶をおこないました。

認識が伝わったのか。また、この間の経過について、また今後の見通しについてはどうなのか。

児島市民病院の一日も早い正常化と充実を願う住民は、自分たちができ得る限りの取り組みで、その意志を真つすぐに示してきた。9月18日に『市立児島市民病院を守り、地域医療を考える会』を結成、10月2日に伊東市長に4万1,000筆を超える『児島市民病院の医師を確保し、地域医療を充実させることを求める署名』を、24日には同様に森田潔岡山大学病院長に署名を提出し、要請を行なった。この12月20日には、森田岡山大学病院長を講師に招き講演会をおこなうことにしている。住民は、ただ単に医師確保だけではなく、地域医療を守り、充実を目指している。学習会の開催を計画するなど継続的な運動を展開していくことにしている。

9月議会でもお尋ねしたが、市長はこうした市民の運動をどう受けとめているのか。そして、どうこたえていこうとしているのか、病院設置者としての責任ある考えを、いま一度お聞かせ願いたい」と質問しました。

三宅英邦副市長は、「児島市民病院が地域の中核病院として重要であることは、大学医局にも重ねてお伝えしている。大学医局も十分御認識いただいておりますと考えている。今後とも、引き続き医師の招聘に最大限の努力をしたい。



10月12日 秋祭り(子ども会御興)



10月27日 倉敷市2009年度予算要求

また、現在の常勤内科医不在という事態は、昨年秋に行われた院内公募による院長人事に端を発したものと理解している。4万人を超える御署名をいただくなど、市民病院や地域医療に対する市民の皆様の真摯な思いにしっかりこたえていくことが、我々の最大の責務であると考えている」と答えました。

支所建設課と産業課の統合は問題

支所機能の低下と住民サービスの低下をもたらす... 住民に身近な部署こそ充実を

建設課と産業課は市民生活にとって非常に密接で、地域のことをよく知っていなければ業務を進めていくことが難しい幅の広い部署であり、いざ災害発生ともなると、最前線で働く技術屋さんたちです。

統合・縮小により、災害時などマンパワーが必要なときに、技術系職員の減少と即応できる民間業者も減っている中で、地域の実情をよく知り、経験が求められる現場に対応できているのでしょうか。

課の統合というのは、支所機能の低下と住民へのサービスの低下を招き、人減らし、合理化にほかならない。住民の福祉の増進に努めるという自治体の役割から考えると、この計画は白紙に戻し、再考すべきです。



市営住宅の募集戸数を増やせ!

適切な住まいに住む権利は、基本的人権

「1996年に開催された第2回国連人間居住会議で採択された『イスタンブール宣言』の中で、負担可能な費用で、安全で健康的な住宅に住む国民の権利や、住環境改善への住民参加など、国民の適切な住まいに住む権利が基本的人権として確認されているように、居住の権利を守るとは世界の流れになっている」と述べ、適切な住まいに住む権利について、市長の基本的な認識を質しました。

伊東香織市長は、「住む権利の認識については、憲法で、すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有しており、住まいは、生活の基盤とな



るものであり、健康で文化的な生活を営む上で、必要不可欠のものと考えている」と答えました。

「今年10月募集の市営住宅への入居希望者の応募倍率は、平均6.8倍という高倍率となっている。市営住宅への入居を求める市民の要求に応えるものになっているのか。住宅の募集戸数を増やしてもらいたい。これが市民の声」とさらに追求しました。

市長は、「今後策定する倉敷市住生活基本計画にもとづき、募集についてもなるべく多くやっていけるよう努力する」と答えました。



11月12日 医労連「ナース・ウェーブ」街頭宣伝に参加



11月25日 岡山県備中県民局 2009年度予算要求

観光地のトイレはユニバーサルデザインに 鷲羽山第2展望台、王子が岳国民宿舎海側駐 車場トイレの改修を求める

「観光地のトイレは、今や観光地選択の要素の一つとなっているとも聞いている。倉敷を代表する観光地である鷲羽山、また王子が岳の海側駐車場のトイレは利用頻度が高い。この2カ所のトイレは、少なくともユニバーサルデザインに配慮した多目的の水洗トイレとして改築することが望まれているのではないかと。必要なトイレは思い切った改築を、そして計画的なトイレの整備を求める」と質問しました。

伊東香織市長は、「改修をするとなると、多機能トイレということを目指すということだと思っておりますが、いずれにしろ、利用者の皆さんがより使いやすいトイレにしていきたいという思いでやっていきたい」と答えました。

その他の質問項目は

- ・過去最高となった子どもの暴力に対する教育長の見解を求める
- ・「全国一斉学力テスト」に参加するな。巨額な費用は、教育環境整備・条件整備にこそ使われるべき、教育長の見解を求める
- ・学びを応援する学校図書館の充実のためには、学校図書館司書の正規職員化を求める
- ・その他、高潮・浸水対策の充実、多重債務者対策の充実、公共交通の充実を求めて質問しました。

この間の主な参加行事、活動です(10~12月)

- ・10/2 「市立児島市民病院を守り地域医療を考える会」伊東市長に署名提出・申し入れ同席
- ・10/4 市立柳田幼稚園運動会/市立柳田保育園運動会「第7回はばたきふれあい祭り」開会式
- ・10/6 第8回全国障害者スポーツ大会壮行会
- ・10/7,8 南部水道企業団議会行政視察
- ・10/11,12 柳田八幡様秋祭り
- ・10/16 倉敷市国保運営協議会
- ・10/17 市議会決算特別委員会
- ・10/18 「2008 せんい児島瀬戸大橋祭り」開会行事
- ・10/19 「いきいきふれあいフェスティバル」開会式市立短期大学学園祭
- ・10/20 市議会保健福祉委員会
- ・10/22 市議会決算特別委員会
- ・10/27 党市議団、倉敷市2009年度予算要求「きずなの会」対市申し入れ同席
- ・10/29 市議会決算特別委員会
- ・10/31 市議会決算特別委員会
- ・11/3 児島中学校区老人クラブ「グランドゴルフ大会
- ・11/4 党市議団「子どもの無保険状態をなくせ、国保資格証明書の発行の中止を」対市申し入れ
- ・11/6 党市議団、雇用問題で岡山労働局申し入れ・懇談
- ・11/12 医労連「ナース・ウェーブ」街頭宣伝参加
- ・11/13 企業組合中高年事業団対市懇談同席
- ・11/15 第28回倉敷市栄養まつり(児島会場)
- ・11/16 倉敷医療生協児島支部健康まつり第42回倉敷市児島市民運動会
- ・11/18 市議会保健福祉委員会
- ・11/19 党岡山県地方議員会議
- ・11/20 党市議団、11月議会前懇談会
- ・11/21 児島商工会議所優良従業員表彰式
- ・11/24 末田まさひこ後援会事務所開き
- ・11/25 党市議団、岡山県備中県民局2009年度予算要求
- ・11/26 党市議団、雇用問題で岡山労働局申し入れ・懇談
- ・11/27~12/12 市議会11月定例会開会
- ・11/28 党市議団、雇用問題で三菱自動車水島製作所と懇談
- ・12/4 末田正彦市議会本会議一般質問登壇
- ・12/17 党市議団、雇用問題で水島プレス、丸五ゴムと懇談
- ・12/20 「市立児島市民病院を守り地域医療を考える会」主催学習会
- ・12/21 児島中学校区青少年を育てる会
- ・12/24 党市議団、児島商工会議所、JA岡山西児島支店を訪問・懇談



11月26日 雇用問題で岡山労働局申し入れ



11月28日 雇用問題で三菱自動車水島製作所訪問・懇談